

アジェンダ21すいた

第37号

平成28年1月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

ニュースレター

CONTENTS

- アジェンダ21すいた代表年頭のご挨拶・・・1
- 報告&レポート・・・4～7
- 第3回すいたエコウォークを開催しました・・・2,3
- イベント案内他・・・8

アジェンダ21すいた代表 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。いつも「アジェンダ21すいた」の活動にご支援、ご協力賜りまして、心より感謝申し上げます。

昨年は、環境家計簿や緑のカーテン、エコキャンドル講習、自然エネルギーに関する情報提供などの活動、そして岸辺駅周辺での第3回エコウォークなどの活動を展開してまいりました。また、アジェンダのホームページも見やすく刷新しました。

さて、昨年12月パリで開催されたCOP21では世界195カ国・地域が締約国として参加し、各国の削減目標を決める方向にまとまりましたが、罰則のない自主的な取り組みとなりました。異常気象が当たり前になって来ているといえる今、さらに取り組みの進展が望まれます。

吹田市に目を移しますと、市では地球温暖化対策新実行計画の中間見直しが進んでいます。その中で平成23（2011）年の策定時に掲げた、「市域の二酸化炭素排出量を平成2（1990）年比で平成32（2020）年に25%以上削減する」との目標が堅持される見込みです。

ところで平成2年から平成24年までの23年間でエネルギー消費量では6%の減少となっているものの、電気の排出係数が増えたため、二酸化炭素排出量では8%の増大となっています。エネルギー消費量で見ても、一年間に0.26%（6%÷23年）で削減してきたと考えると、あと5年で19%（25%－6%）減らすためには年に3.8%（19%÷5年）ずつ減らす必要があり、単純には計算できませんが、今までの15倍（3.8%÷0.26%）の努力をしないと目標は達成できないと言えるでしょう。目標達成がいかに難しいことか、よくわかります。

多くの市民や事業者が二酸化炭素削減に向け努力されていますが、「誰かがやってくれる」ではなく、「私がする」との個々の自覚と実践の広がり強く望まれます。

昨年、アジェンダでは新たなプロジェクトとして、小学校での温暖化授業の普及についての検討をスタートし、本年もさらに拡大できるよう継続して参ります。

また、今年は新たなフラッグシップとして、6月の環境月間に「吹田地球温暖化防止デー（仮称）」を設け、市民・事業者、各自がエコな実践を行うことを推進する仕組みづくりの検討を進めます。

国際レベルでは合意ができた、しかし地域レベルではさしたる進展はない、そのような状況を打ち破れるよう、本年も努力をしてまいります。皆様のお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。



三輪代表



＜市民一人あたりの温室効果ガス排出量の推移、吹田市域のエネルギー消費量の推移＞

	トン-CO2	トン/人	PJ	kg-CO2/ kwh
平成2年（1990年）	1,753,000	5.1	21.2	0.353
平成24年（2012年）	1,884,000	5.3	19.7	0.522
平成32年（2020年）度目標値	1,315,000	3.89	15.9	

出展：すいたの環境 平成27年版、吹田市地球温暖化対策新実行計画改訂版(案)

特集

フラッグシッププロジェクト 歩きたくなるまちづくり 第3回 すいたエコウォーク ～なぞを探してウォーキング～

11月14日（土）、新しくきれいになったJR岸辺駅を中心とし、国立循環器病研究センターや市民病院などが移転する予定で注目を集めている、岸部界隈をエコな観点で歩く「すいたエコウォーク」を開催しました。

参加者は総勢70名でした。家族連れの参加もありました。

早朝から雨模様で、お天気があやしく開催が危ぶまれましたが、不思議にもイベントの間は雨が降らなかったため、決行の決断は正解でした。夕方には一転して大雨になったので、無事終了できたことを喜びました。

今回は、大阪学院大学の学生さんが実行委員として最初から参加してくれ、若い感性で様々な意見やアイデアを出してくれました。

コースの下見も何度も重ね、改良を重ねながら企画を練りました。「なぞを探してウォーキング」ということで、5つのクイズポイント（以下、ク）でクイズを解き、4つのエコポイント（以下、エ）を通過してシールをもらいながら歩くことに決めました。



ナルトサワギク



吉志部神社参道

9時にJR岸辺駅に集合、岸辺駅北側空地（エ）で特定外来生物ナルトサワギクの説明を聞き、北側に向けてウォークをスタートしました。

常光寺（ク）を過ぎ、松並木の吉志部神社参道を通って石段を上り、吉志部神社に到着、ここから少し下ると、須恵器を作っていた吉志部瓦窯跡です。再び参道を通って引き返します。

ローソン岸部北三丁目店（エ）では、マイボトル持参の人はマイボトル体験（飲み物が10円引きで買え、容器がゴミにならずエコ）をしてもらいました。

ここから旧中西家に行く道は、昔ながらの造りの民家が残っていて、歩くのが楽しい道のりです。旧中西家見学は、こちらのガイドもしておられる地元の方の協力で実現しました。

次は大光寺（ク）です。太子館は、聖徳太子を顕彰するために建てた2階建ての建物で、洋風の建築技法が取り入れられた登録有形文化財です。

JR岸辺駅に戻ると、線路をまたいで自由通路ができています。これまでは暗い地下道を通っていましたが、ガラス張りの明るい自由通路から、広く大きな敷地の吹田貨物ターミナル（エ）が見えます。トラック輸送に比べて貨物列車は、CO2排出量が少ないのです。



JR岸辺駅の自由通路

すいたエコウォーク開催

南側の最初の地点はフレンドマート平和堂（工）です。ここにペットボトル回収拠点としては珍しい圧縮機械があります。



ワークショップ

この後、岸部南公園（防災公園）（工）で防災トイレ、太陽光照明を見て、ゴール地点の大阪学院大学に到着です。ここで、ワークショップをし、ウォークの振り返りをし、参加者の皆さんに感想を述べてもらいました。

ワークショップの後は、抽選会を行い、協賛企業からの賞品の授与があり、参加賞を配って終了となりました。

これまで何気なく通り過ぎていた街並みの中に、新たな発見がたくさんあり、参加者の皆さんには楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

（実行委員 水川）

☆参加者の感想☆

- ・コースの設定や所要時間は、ちょうどよかった。
- ・旧中西家住宅の景色が良かった。思いもかけず行ってみたいと思っていた旧中西家住宅を見られて、大変うれしかった。
- ・ナルトサワギク、防災トイレ等、初めて見聞きすることが多く有意義だった。
- ・マイボトル・マイカップを持参すると飲み物が値引きになるサービスは良いと思うが、あまり知られていないのでは？
- ・エコトイレ等の防災施設を、もっと多くの公園に造ってほしい。
- ・ペットボトル圧縮機械を初めて見ておどろいた。
- ・防災トイレの中が見れて良かった。
- ・エコや歴史について学べて、とてもよかった。

☆スタッフの感想☆

すいたエコウォークに携わり、当日の朝は小雨で決行できるかが心配でしたが雨が止み、中止ではなく決行という連絡が着たときは本当に良かったと思いました。

やはり雨が最初に降っていたためか、参加者の集まりはあまり良いものではありませんでしたが、実際にイベントが始まると、参加者は吹田東部地域（北は紫金山公園、南は大阪学院大学）をスタンプラリーや謎解きをしながら歩き、まち並みなどの景観を楽しみながら歩いていました。

今回のイベントで目玉となったものは旧中西家住宅でした。

旧中西家は登録有形文化財で、定員30名までの予約制であるため参加者は観覧できるタイミングとしては絶好の機会だったのかと思います。

また、ゴール地点となる大阪学院大学ではワークショップを行い、その日の振り返り、発見があったことの参加者での話し合い、みんなの前での発表、抽選会等を行い、イベントを盛り上げることができました。

参加者からは楽しかったなどの意見をいただき、携われて良かったと思いました。

（大阪学院大学 川畑）



報告&レポート①（エネルギー部会）

再生可能エネルギー利用見学会

～バイオマスエネルギーの普及について考える～

なぜバイオマスエネルギーか

バイオマスとは、動・植物などの生物資源の総称で、身近には製材木屑、家畜排泄物、農業残さ、生ゴミなどの廃棄物が主体です。

化石資源と比べ短いサイクルで自然再生が可能であるとともに、追加的なCO₂が発生しないカーボンニュートラルなエネルギーです。化石燃料の代わりに使用すれば、事実上CO₂の排出量を減らすことができますし、いままで廃棄されていて未活用のバイオマスを新たに利用することで、廃棄物処理費の低減とともに、エネルギー源の多様化が図られます。

バイオマス発電、熱利用、燃料製造が新エネルギーに指定され、導入普及が進められています。

主なバイオマスエネルギー

1 木質燃料

製材廃材、建築廃材、林地残材、未利用間伐材、剪定材など

→ペレットやチップなどの木質燃料として利用したり、燃焼させて蒸気タービンで発電もできる。

2 バイオガス

生ゴミなどの有機性廃棄物、家畜の糞尿、下水汚泥

→嫌気性発酵し、メタンが主成分の可燃性ガスを発生させ、発電させる。

3 バイオエタノール

サトウキビ、麦、トウモロコシ、木質バイオマスなどの植物性資源を発酵させて製造

→ガソリンに3%ほど混ぜて自動車燃料として利用する。

4 バイオディーゼル（BDF）

廃食用油（家庭、外食産業、食品工場）、ヒマワリやナタネの絞り油

→軽油に5%ほど混ぜてディーゼル車用燃料として使用する。

バイオマスエネルギーの導入事例の見学

1 木質燃料の発電・廃熱利用 日本ノボパン工業（株）堺工場

10月15日、木質廃棄物の循環利用によってパーティクルボードを製造する日本ノボパン工業（株）を訪問しました。建設現場から排出される家屋解体材や残材、木材工場などから排出された木屑は、チップ工場へ搬入されて粉碎・精選の後、当工場へ納入されます。異物除去やチップ処理が施され、熱圧・成型されたパーティクルボードは、木質部材として供給され再利用されます。

上記のマテリアルリサイクルとともに、焼却炉と蒸気ボイ



再生可能エネルギー利用見学会報告

ラー、発電設備を導入し、サーマルリサイクルにも取り組んでいます。ボード原料に適さない木質材料を燃焼させ、熱回収し、工場の電力および熱源の全エネルギーを賄うことに成功しています。エネルギー自給自足型の最新工場と自負しておられました。

再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）の施行以降、廃木材が集まりにくくなっているとのことで、制度の難しさも感じました。

2 バイオディーゼル（BDF）製造 京都市廃食用油燃料化施設

11月19日（木）、京都市南部クリーンセンター構内にあるバイオディーゼル燃料化施設を見学してきました。

この施設は、平成9年創業で、京都府内の食堂等事業系の廃油を買取したり、また一般家庭からの廃油を市内約1,800カ所の集積拠点を回ったりして集めた廃油を、装置内で変性し、グリセリンなどの副生成物を分別精製したバイオディーゼル燃料製品とする再生施設です。

得られた製品は、ゴミ収集車約140台分の「軽油の100%代替燃料（B100）」として、また、市バス95台分の「軽油への5%混合燃料（B5）」として利用しています。

生産規模はバイオディーゼル燃料5kL／1日、軽油混合燃料6kL／1日とのことで、年間で約1,100kLを生産しています。これはCO₂として年間約2,700tの削減になる

そうです。

製品価格は、市販の軽油と同等程度であり、実績からも使用可能な製品になっているとのことでした。

説明員は、今後は、熱安定性の更なる改良や副生のグリセリンの需要開拓等進めながら、拠点数を2,000カ所に増やしたいと意気込んでおられました。

3 廃木材等によるバイオエタノール製造 (株)DINS堺バイオエタノール事業所

12月10日（木）、堺市臨海部の大阪エコタウンに位置する当工場を見学しました。

世界で初めて、建築廃木材や廃ジュース等をバイオマス資源として取り上げた施設だそうで、希硫酸による糖化法と2種類の菌体を用いて発酵させ、濃縮蒸留を経てエタノールを製造します。食料である農作物を原料とせず、廃棄物処理費を抑制することにもつながります。

収集された廃木材は汚れ具合によってエタノール原料用とボイラー燃料用に選別され、それぞれが破砕機で粉砕されます。ボイラー燃料用チップは燃焼され、蒸気として工場内で使用するとともに、発電機で電気に変換されエタノール製造過程に使用されます。加水分解中に発生する残渣（リグニン）もバイオマス燃料として出荷されるなど、資源がムダなく活用されていました。

隣接地に廃棄物処理工場を持つ親会社が廃木材を収集したり、処分場を保有したりしているため、コスト削減され、何とか運営できているとのことで、新エネルギー普及の壁はまだ高いようです。

（エネルギー部会 馬場・中野）



報告&レポート②

(資源部会)

北摂地域共通マイバッグキャンペーン

11月3日(火・祝) 11時~11時30分 イオンモール茨木で、「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」による北摂地域共通マイバッグキャンペーンが行われ、市民団体のメンバーである資源部会が参加しました。

好天に恵まれ、祝日とあって、家族連れなど大勢の買い物客でにぎわうモール中を、北摂各市の人気キャラクターと、北摂7市(吹田市、池田市、茨木市、摂津市、高槻市、豊中市、箕面市)の市民団体と職員が、啓発品のポケットティッシュを手渡ししながら、ごみを減らし資源の節約に繋がるレジ袋の削減とマイバッグでのお買い物を呼びかけました。

このモール内のスーパーはイオン系列なので、レジ袋は既に有



料化されており、大半のお客様はマイバッグを持参されていましたが、専門店で買い物をされる人達にも、このキャンペーンの主旨を伝える事ができたと感じました。

(参加者数は41名、配布ポケットティッシュ2,000個)

(資源部会 福田)



ふろしきの包み方講座(母子会まつり)



12月12日(土)、第14回母子会まつりがメイシアターで盛大に行われ、資源部会は、「レジ袋削減マイバッグ推進協議会」の市民部会の一員として、ふろしきの包み方の講習会を行いました。

最近では、ふろしきの便利さが見直され、また、色や柄も美しいものが出てきています。一枚の布でいろいろな形のもののが包め、何度でも繰り返し利用でき、ごみにならないふろしきを見直してもらおうと、レジ袋の代わりになる「お買い物ごみの包み」や「ペットボトル包み」などの包み方を説明しながら、実際に包んでいただきました。

昨年引き続き母子会手作りのアップリケのついたふろしきが提供されましたので、1回20名の定員で、2回行いましたが、あらかじめ配布する整理券が、すぐになくなるほど人気がありました。

皆さん熱心に受講され、誰もが簡単にできるふろしきの包み方を覚えていただき、ふろしきを見直すきっかけになったのではないのでしょうか。

(資源部会 大澤)



報告&レポート③ (自然・エネルギー部会)

みどりのカーテン写真コンクール結果発表！



「みどりのカーテン講座」は、アジェンダ21すいたの自然部会とエネルギー部会の共催で開催している講座です。

ご家庭の壁際やベランダなどで朝顔やゴーヤ等のツル性の植物を育てることで、日陰による室内温度の上昇防止に伴う冷房電力の削減や、実った野菜をご家庭で食べることで、地産地消にもつながります。

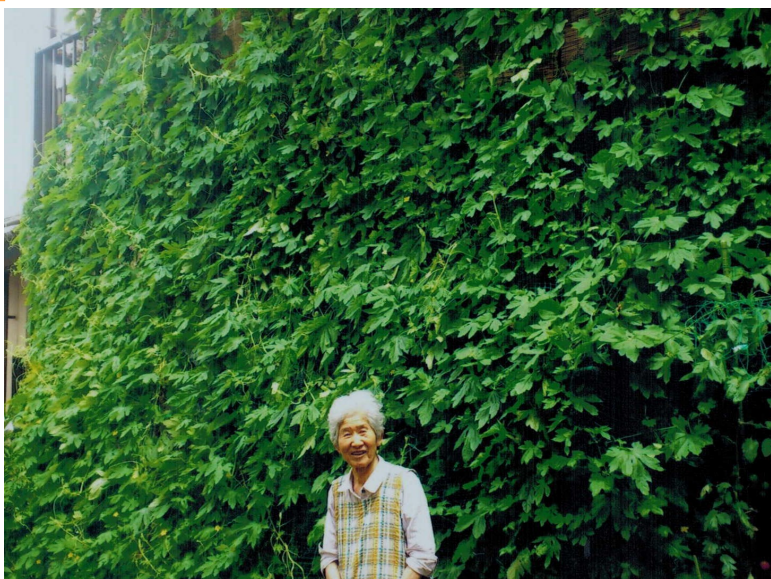
この講座は、エネルギーの削減や生活環境について関心を持っていただく啓発活動

として、毎年5月頃に開催しています。

講座当日は、講師の解説や植え付けの実演もあり、参加者にはゴーヤの苗もお持ち帰りいただき、とても好評を得ています。

秋には、「みどりのカーテン写真コンクール」と題し、市民の皆様が育てられたみどりのカーテンの写真を公募し、アジェンダの会員による審査で優秀作品を決定し、吹田市やアジェンダ21すいたのホームページでも発表しています。

平成27年のみどりのカーテン写真コンクールの応募は14件でしたが、毎年、市民の皆様の育て方が上手になっており、選定に困る程になってきています。



金賞 岸田千代子さん(原町4)

今回については、初めて全員一致で金賞と銀賞を決めることができました。

みどりのカーテンについては、今では吹田市の多くの環境団体や、ボランティアの活動による講座が増え、頼もしくもありうれしくもあります。

アジェンダ21すいたでは、新たな取り組みや啓発について検討を重ねていますが、この講座はとても好評ですので、さらに内容の検討を加え、続けていきたいと思えます。

(自然部会 伊藤)



銀賞 井之口いつ子さん(江坂町1)

各種募集・イベント案内

すいた環境教育フェスタを開催します！

クイズラリー、パネル展示、リユース図書の配布、工作、幼稚園作品展示など、大人も子どもも楽しめる催しがたくさん出展されます。アジェンダ21すいたのブースでは「すいたエコウォーク」の報告や、各部会の取組報告、エコ双六、給茶コーナー等を行います。◆日時／2月11日（祝）午前10時30分から午後3時30分 ◆主催／吹田市 ◆会場／メイシアター（吹田市文化会館）◆その他／入場無料 ◆問合せ／吹田市環境部環境政策室（TEL:06-6384-1702）へ。

サイエンスカフェ・えねるぎいっ亭へお越しください！

「エネルギーって何だろう」という素朴な疑問に対する答えを考えながら、いろいろなエネルギーの話聞いてみませんか？ ◆日時／2月19日（金）午後7時から9時 ◆会場／グランフロント大阪北館タワーC7階 ◆その他／入場無料、交流会有り ◆主催／大阪ガス エネルギー・文化研究所 ◆問合せ／大阪ガス（当麻TEL:06-6205-4892）へ。

家庭でお得！省エネ・節電セミナー(仮題)に参加しませんか！

地球環境に配慮した行動や省エネ機器導入の促進を図るため、省エネの必要性・進め方等を解説します。◆日時／3月12日（土）午後2時から4時 ◆費用／無料 ◆会場／千里ニュータウンプラザ（千里市民センター） ◆問合せ／アジェンダ21すいた事務局へ。

くるくるフォーラム2015 参加者募集！

「衣類のリユース・リサイクル」をテーマに、取組みを紹介し意見の交流を行います。◆日時／3月12日（土）午後2時から4時 ◆会場／千里山コミュニティセンター ◆申込み・問合せ／（公財）千里リサイクルプラザ（TEL：06-6877-5300）へ。

アジェンダ21すいたニュースレターへの掲載記事を募集しています。

本ニュースレターに掲載する記事を募集しています。各部会や会員の環境活動に関わる報告・紹介などの記事を提供していただける方は、アジェンダ21すいた事務局までお知らせ下さい。また、各種募集、イベントなどの情報もお待ちしております。次回のニュースレターは、平成28年4月の発行を予定しています。◆申込み・問合せ／アジェンダ21すいた事務局へ。

ホームページで、イベント情報や活動スケジュール等をお知らせしています。

アジェンダ21すいたのホームページでは、イベント情報や活動スケジュール、環境講座データベース「レインボーすいた」などの情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。
ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして 一緒に活動しましょう！

【会費】

- ◆正会員 個人1,000円/年 団体5,000円/年
- ◆賛助会員 1口1,000円/年
- ◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付
部会活動への参加、主催行事への参加など

アジェンダ21すいたニュースレター

第37号（平成28年1月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL:06-6384-1702 FAX:06-6368-9900

E-mail: env-keikaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』